平成29年度

岩手県立盛岡第二高等学校　入学式

新入生と保護者を前に 120 周年の記念すべき年の入学を祝福する同窓会長

創立１２０周年の歴史を踏まえ、白梅の誇りと夢が

去る４月７日（金）、本校の平成２９年度入学式がおこなわれました。

待望の二高の門をくぐった新入生２０３名は、緊張した表情の中にも晴れやかな笑顔をのぞかせ、本校体育館でおこなわれた入学式に臨みました。式では、担任の呼名に一人一人が元気よく返事をし、校長からの入学許可を全員が神妙な面持ちで受け、盛岡二高生として新たなスタートを切りました。

新入生代表宣誓では、「谷川俊太郎作詞の合唱曲『信じる』の中の一節「葉末（はずえ）の露がきらめく朝に、何をみつめる小鹿のひとみ」を取り上げ、二高生としてその名に恥じないよう努力していくことを宣誓しました。

式終了後、晴れて二高生となった新入生に音楽部が二高生のための旧校歌『雪間に匂う』を披露、その後吹奏楽部の演奏による二高生にしか使われない『白梅行進曲』で、胸を張り退場しました

新入生代表宣誓

『白梅行進曲』を演奏する吹奏楽部